



作成日：2018年 7月 16日
最新改訂日：2020年 6月 1日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : デオグースT
会社名 : 竹中産業株式会社
住所 : 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1丁目5-5
担当部門 : 開発部
電話番号 : 03-3256-2355
FAX番号 : 03-3254-8270
受付日時 : 月曜日～金曜日(祝祭日除く) 9:00～17:30
整理番号 : SDT-250 消臭剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体	: 区分外
急性毒性(経口)	: 区分外
急性毒性(経皮)	: 区分外(混合物の57%は急性経皮毒性が未知の成分からなる)
急性毒性(吸入)	: 分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷または眼刺激性	: 区分2
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 区分1
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性, 単回ばく露	: 分類できない
特定標的臓器毒性, 反復ばく露	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
水生環境有害性(急性)	: 区分2
水生環境有害性(長期間)	: 区分3 (混合物の57%については水生環境有害性が不明である)

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル、注意喚起語



警告

危険有害性情報

皮膚刺激
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
水生生物に有害
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

【安全対策(予防策)】

- ・ご使用前に SDS をお読みください。
- ・保護手袋、保護眼鏡等を着用すること。
- ・換気の良い場所で使用し、揮発成分の蒸気(ペーパー)・粉じんの吸入を極力避けること。
- ・取扱い後は充分に手洗いをする。

【応急措置(対応)】

- ・皮膚や衣服に付着した場合は多量の水と石けんで洗うこと。
- ・眼に入った場合は水で数分間注意深く洗うこと。
- ・眼や皮膚の刺激又は発しんが生じた場合や吸入し気分が悪い場合には、医師の診断・手当を受けること。
- ・漏出物を回収し、環境への放出を避けること。

【保管(貯蔵)】

- ・換気のある冷暗所(又は指定の場所)に密閉して適切に保管すること。

【廃棄】

- ・残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

3. 組成/成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物
 一般名 : 香料
 成分及び含有量

成分名	CAS No.	含有量	化管法
シトロネロール	106-22-9	1~5%	
安息香酸ベンジル	120-51-4	20~30%	
ターピネオール	8000-41-7	50~60%	

4. 応急措置

吸入した場合 : 被災者を直ちに新鮮な場所に移し、頭を低くして横向きにねかせ、身体の保温に努める
 被災者が意識を失っている場合には、口中の異物を取り除く。
 被災者の呼吸が止まった場合は、速やかに人工呼吸を行う。
 応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 石けんで充分洗浄後、清浄な水で洗い流す。
 必要に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分以上洗眼した後、速やかに眼科医の診断を受ける。
 コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り取り除いて洗浄する。

飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、コップ1~2杯の水又は牛乳を飲ませて希釈する。
 無理に吐かせてはいけない。
 被災者に意識が無い場合には、口から何を与えてもいけないし、吐かせようとしてもいけない。
 応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 乾燥砂、粉末消火剤、二酸化炭素、泡沫消火剤等
 使用してはならない消火剤 : 水
 特有の消火方法 : 消火剤を火元へ放射、散布等をして消化する。
 : 消火作業は可能な限り風上から行う。
 : 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移動する。
 : 火災発生場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。

消火を行う者の保護 : 消火作業では、状況に応じて適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項
 保護具及び緊急時措置 : 作業の際、吸入や皮膚に触れないよう、適切な保護具を着用し、換気を良くして処理する。

環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境に影響を起こさないように留意する。

封じ込め及び浄化の方法
 及び機材 : 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウェス等に吸収させて密閉できる金属容器などに回収して適切に処理する。多量の場合には、盛土で囲って流出

二次災害の防止策 : 防止し、安全な場所に導いてから処理する。
 : 付近にある着火源となるものを速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 技術的対策 : 局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うこと。
 安全取扱注意事項 : 火気厳禁。電気機器類、静電気、スパーク等による着火源を生じないようにする。
 : ばく露防止の為、適切な保護具を着用して作業を行う。
 : 蒸気の吸入、皮膚への接触を避ける。
 : 取り扱い後は充分に手洗いをする。

保管
 安全な保管条件 : 適切な換気のある乾燥した冷暗所(又は指定の場所)に密栓して保管する。
 : 消防法、労働安全衛生法等の法令の定めるところに従う。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度 :

成分名	管理濃度	許容濃度		
		日本産業衛生学会 ¹⁾	ACGIH(TWA) ²⁾	ACGIH(STEL) ²⁾
シトロネロール	—	—	—	—
安息香酸ベンジル	—	—	—	—
ターピネオール	—	—	—	—

設備対策 : 取扱いの際には、設備の密閉化又は局所排気装置を使用する。

保護具
 呼吸器の保護具 : 呼吸用保護具
 手の保護具 : 保護手袋
 眼の保護具 : 保護眼鏡
 皮膚および体の保護具 : 保護服(長袖作業服等)

9. 物理的及び化学的性質

外観
 形状 : 液体
 色 : 無職～黄色
 臭い : 特有の香気
 沸点・初留点 : データなし
 引火点 : 106℃ (タグ開放式)
 爆発範囲 : データなし
 蒸気密度 (空気=1) : データなし
 密度 : 0.99 g/cm³ (20℃) (実測値)
 自然発火温度 : データなし

10. 安定性及び反応性

化学安定性 : 通常の条件下では安定で自己重合性はない。
 反応性 : 通常の条件下では、反応性はない。
 危険有害反応可能性 : 種々の酸化剤と反応し火災や爆発をもたらす。
 避けるべき条件 : 高温への暴露
 混触危険物質 : 酸化剤、ハロゲン類、強酸類、アルカリ類
 危険有害な分解生成物 : 燃焼の際に煙、一酸化炭素、二酸化炭素を発生する。

11. 有害性情報

製品(混合物)の情報(GHS 分類)は、別表のとおり。

1 2.環境情報

水性観光有害性（急性）	: 区分 2
水性環境有害性（長期間）	: 区分 3（混合物の 57%については水性環境有害性が不明である。
生体毒性	: 混合物としての知見なし。
残留性・分解性	: 混合物としての知見なし。
生態蓄積性	: 混合物としての知見なし。
土壌中の移動性	: 混合物としての知見なし。
オゾン層への有害性	: 混合物としての知見なし。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 産業廃棄物として処理する場合は、許可を受けた処理業者に委託する。
汚染容器及び包装	: 内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行う。

1 4. 輸送上の注意

国内法規則	
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法、港則法等に定められている輸送方法に従う。
航空輸送	: 航空法等に定められている輸送方法に従う。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	: 容器を転倒、落下等粗暴な取り扱いをしない。 : 火気厳禁とする。
緊急時対応措置指針	: 該当せず
国際規則	
国連番号	: 該当せず。
国連輸送名	: 該当せず。
国連分類	: 該当せず。
容器等級	: 該当せず。
海洋汚染物質	: 該当せず。

1 5. 国内の適用法令

労働安全衛生法	: 危険有害化学物質等 特定危険有害化学物質等
消防法	: 第 4 類 第三石油類（非水溶性）危険等級Ⅲ

1 6. その他の情報

引用文献

- 1)産業衛生学会誌（2013 年度版）
- 2)Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices(ACGIH)2013 年度版
- 3)香料への GHS 対応の手引き(改定第 2 版) 日本香料工業会
- 4)独立行政法人 製品評価技術基盤機構(N I T E)GHS 分類結果
- 5)香料の表示指針（2013 年版）日本香料工業会
- 6)IFRA-IOFI Labeling Manual 2013

記載内容の取扱いについて

記載内容は現時点で当社が入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが記載のデータや評価に関しては、いかなる保障をなすものではありません。また注意事項は通常の手取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

別表

製品（混合物）及び主要成分の有害性情報・環境影響情報（GHS分類）^{3）、4）、6）}

有害性項目	製品(混合物) GHS 分類結果	有害性を有する成分の GHS 分類		
		シトロネロール	安息香酸ベンジル	ターピネオール
急性毒性（経口）	区分外	区分外	区分 4	区分外
急性毒性（経皮）	区分外	区分外	区分外	分類できない
急性毒性（吸入）	分類できない	分類できない	分類できない	区分 2
皮膚腐食性・刺激性	区分 2	区分 2	分類できない	区分 2A
眼に対する重篤な損傷 ・刺激性	区分 2	区分 2A	分類できない	分類できない
呼吸器感作性	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
皮膚感作性	区分 1	区分 1B	分類できない	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
発がん性	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
生殖毒性	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 （単回ばく露）	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 （反復ばく露）	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
水生環境有害性（急性）	区分 2	区分 2	区分 2	区分 3
水性環境有害性（長期間）	区分 3	分類できない	区分外	分類できない